

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生第三小学校 第1学年1組 担任 ○○ ○○

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	8 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	○. ○%	○. ○%
		53 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	○. ○%	○. ○%
		54 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	○. ○%	○. ○%
	目標の達成	18 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	○. ○%	○. ○%
		26 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	○. ○%	○. ○%
	他者との協働	107 わたしは、友だちの心をきずつけることを言ったり、からかったりしていない。	○. ○%	○. ○%
学力と関係が深い質問			○. ○%	○. ○%
			○. ○%	○. ○%
			○. ○%	○. ○%
領域名		学力調査の分析 ○成果 ▲課題		
国語	言葉・情報・言語文化	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
	書くこと	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
	読むこと	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
算数	数と計算	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
	図形	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
	変化と関係	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
	データの活用	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、() 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、() 設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>読み、書き、計算ともに、多少の能力の個人差が見られるが、最後まで頑張ろうとする児童が多い。</p> <p>読み聞かせを聞いたり、音読をしたりなど、文章に触れ、自分の思いを表現する活動に意欲的な反応を見せる児童が多い。また、文章を書く学習に、意欲的に取り組むが、平仮名、助詞の使い方や特殊音節の定着が十分でない。</p> <p>積極的に手を挙げて発言する児童が多く、話すことが好きな児童が多いが、適切な言葉で話したり、聞いたことをもとに答えたりする力については未発達な様子も見られる。</p>		<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> • 並行読書、読み聞かせを取り入れ、単元学習への意欲をもたせる。また、様々な動作化や挿絵の活用など、児童が想像力を働かせて、自由な表現での音読ができるようにする。 • 正誤の比較を通して助詞の使い方について確認をし、特殊音節は声に出して確かめてから取り組ませる。 • 手本となる話型で発表できている児童のよさを例にして伝えるようにする。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> • 個別に手立てや声かけを工夫したり、児童の実態に合わせて、朝学習の課題を計画的に出したりする。 • 個別の課題に合った声かけを意図的に行ったり、必要に応じて個別指導の時間をとったりする。 		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童	○. ○%	(○人/○人中)
確認テストの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童	○. ○%	(○人/○人中)